

平成26年度

課題テーマ別調査研究報告書

大規模災害における自治体のあり方

～震災からの復興、20年の時を超えて～

公益財団法人 神奈川県市町村振興協会

はじめに

「課題テーマ別調査研究（国内）」は、国内の先進的な取り組みを行っている自治体等を調査研究し、日ごろの業務に活かしてもらうことをねらいとして平成24年度からスタートしました。

今年、発災から20年の節目を迎えた阪神・淡路大震災、そして4年前に起こった東日本大震災。私たちはこれらの大震災とその復興から得た教訓を踏まえ、防災対策の充実を図っていかなければなりません。

そこで、3年目になる今年度の課題テーマも、平成24年度から引き続き「大規模災害における自治体のあり方」とし、過去に大規模災害にあった地域を訪問し、先進的な取り組みをしている現地の市町村職員の皆さんから事前の策や災害後の対応等について学ぶこととしました。

このテーマに関心と意欲を持って参加した研究員（7名）は、自分達で訪問先、具体的な調査事項を決定し、熱心に研究に取り組みました。

そして、阪神・淡路大震災の被災地となった神戸市、西宮市、淡路市を10月29日から31日の3日間、現地調査を実施し、今般その調査研究の成果を報告書として取りまとめることができました。

この課題テーマ別調査研究にご尽力いただきました関係者の方々に心から感謝申し上げますとともに、調査研究の成果と研究員の貴重な体験が、これからの市町村行政の中で活かされていくことを心から期待しております。

平成27年2月

公益財団法人神奈川県市町村振興協会

理事長 内野 優

目 次

第1章	研究概要	1
第2章	各市の概要	
1	西宮市	8
2	神戸市	10
3	淡路市	12
第3章	調査項目	
1	共通調査事項	
(1)	災害時職員初動マニュアル	14
(2)	特色ある訓練	20
(3)	災害時応援協定	25
(4)	津波対策	32
(5)	公共施設の特色	37
2	個別調査事項	
(1)	被災者支援システム	42
(2)	受援計画	44
(3)	淡路島地震	46
第4章	その他	
1	現地視察	
(1)	人と防災未来センター	51
(2)	北淡震災記念公園	52
2	茅ヶ崎市における図上訓練	54
参考資料		
1	編集後記	57
2	調査研究を終えて	60
3	平成26年度課題テーマ別調査研究(国内)実施要領	62
4	研究日程	66
5	現地調査日程・研究メンバー表	67

